

第2期志摩市創生総合戦略の 推進について ～進捗管理及び評価～



作成：令和2年11月
政策推進部 総合政策課

○第1期の進捗管理及び評価について

○進捗管理について

第1期の進捗管理及び評価については、「志摩市創生総合戦略【具体的な施策】実績報告シート」により行っていた。

○評価について

各事業のKPIについて、A「目標値を達成し、効果があった」からE「実施していない」までの評価を付け、検証結果のとりまとめを行った。

評価	検証結果	割合
A	目標値を達成し、効果があった。	31.8% (28/88)
B	目標値に達しなかったが、効果があった。	50.0% (44/88)
C	目標値を達成したが、効果はなかった。	1.1% (1/88)
D	目標値に達せず、効果がなかった。	13.7% (12/88)
E	実施していない。	3.4% (3/88)

また、各基本目標ごとに設定したKPIについても検証を行い、評価を行った。

項目	数値目標	基準値 (H28)	実績値 (R1)	根拠
1	70%以上	—	9.7%	R1 年度アンケート調査
評価	地方創生は市民や民間事業者の方々に自主性や主体性を発揮していただく必要があるが、まだまだ浸透していない状況である。 具体的な施策の各事業に関わる市民の数を増やしていくことや、その事業に関わった市民の満足度等を向上させることなどが必要である。			

○第1期の進捗管理及び評価の課題

○地方創生審議会委員より（議事概要より一部抜粋）

- ・ 数値目標の中の指標の部分に関して、指標とされるものがふんわりとし過ぎているのではないかと
- ・ 何を指標として目標を立ててそこに向かってやっていくのかというところが明確に見えない
- ・ KPI の設定に関して、第1期の総合戦略では「事業として何をどれだけやったか」という KPIとなっていたが、「結局それが地方創生につながったのか」ということが、はっきりわからなかった。
- ・ 審議会は、全体としての地方創生の評価や検証や見直し、それが主たる任務とされていて、今までは個々の施策とか、個々の事業ベースで評価や見直し検討するというようなことは、あまりこの審議会の役割としての位置づけはなかったのかなと思う
- ・ 第1期は、事業ごとに KPI を設定し、それに対して年度ごとにどれくらい達成できているのか評価してきた。第2期は、事業単位ではなく施策単位で、その中の基本となる事業や、あるいはその事業の進捗度となる適切な指標を KPI として設定して、事業単位ではなく、施策単位で戦略を取りまとめている。事業単位でどれくらい実績が上がっていて、どこまで到達出来ているかという形で資料提供いただけると、何がどこまで進んでいるのかというようなことが見えるのではないかと



個々の取り組みの内容や是非について評価・審議するのではなく、各事業の実績が、基本目標の目標値（目指す姿・ねらい）をどの程度達成しているか、また課題・改善案が示されているかを評価・審議する

○第2期の進捗管理及び評価案【方向性】

・第2期における進捗管理及び評価方法の方向性

① 様式の簡素化

- ⇒ 事務の簡素化を図る
膨大な資料では、どこを評価するのかが不明瞭になる

② 評価方法の見直し

- ⇒ 事業の進捗状況、達成度等を分かりやすくし、
評価の透明性を確保する

③ 基本目標に対する各施策の効果（実績）への評価を実施

- ⇒ 人口減少対策等、各施策の目標に対し、どのような効果・実績があったかを
分かりやすくする

④ 図表、グラフ等の活用

- ⇒ 実績を視覚化することにより、達成度が一目で分かるように

○第2期の進捗管理及び評価案【評価方法】

・評価について

◆現行

- A 目標値を達成し、効果があった
- B 目標値に達しなかったが、効果があった
- C 目標値を達成したが、効果はなかった
- D 目標値に達せず、効果がなかった
- E 実施していない



「目標値を達成」については、客観的に評価することができるが、「**効果があった**」かどうかについては、主観的であり、どのように評価しているのかが分かりにくい

○第2期の進捗管理及び評価案【評価方法】

・評価について

◆見直し案

<u>A 順調</u>	判断基準	・ 実績値が目標値以上
<u>B 概ね順調</u>	判断基準	・ 実績値が目標値に対して80%以上
<u>C 努力が必要</u>	判断基準	・ 実績値が目標値に対して80%未満
<u>D 実績値なし</u>	判断基準	・ 年度途中等で実績値の把握が不可



目標値に対する実績値（数値）を判断基準とすることにより、客観的に評価を行う。

※第2期については、アウトカム指標を採用しているため、効果については、目標値の達成度で評価が可能

○アウトプット指標とアウトカム指標

アウトプット指標 ⇒ 事業実施に直接関連する指標 例：道路を〇〇km整備した

アウトカム指標 ⇒ 成果に関する指標 例：渋滞が〇〇分緩和した

○第2期の進捗管理及び評価案【様式①】

・様式①【基本目標評価シート】

令和2年度志摩市創生総合戦略【基本目標評価シート】

■政策分野 1)ひとの育成 【達成度の目安】
 ■基本目標「地域で活躍する人を育てる」 A: 順調(目標値を上回っている) B: 概ね順調(80%以上)
C: 努力が必要(80%未満) D: 実績値なし

地域の自然や伝統・文化に誇りを持ち、地域の発展に意欲を持って取り組み、活力ある地域づくりの推進力となり、また、情報化や国際化といった時代の変化にすばやく対応し、新しい発想で地域のあり方を考えることができる人材を育てる。
 いつまでも健康的・文化的に暮らし、まちを維持するための地域活動などのボランティア活動に参加する人材を育てる。

■数値目標の進捗状況

指標(出典)	基準値	目標値
地域に誇りを持っている市民の割合(市民アンケート)	715% H30(2018)	80.0% R6(2024)

実績値(R2)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)
72%	-	-	-	-

評価と今後の方向性 (課題と改善案)	B	○○施策は目標値を達成したものの、△△施策については、□□などの要因により、目標値を達成することができなかった。 令和3年度については、△△事業の要綱の改正を行い、対象を拡大し、目標値達成に向けさらなる取り組みを進めていく。
-----------------------	---	---

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値(H30)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1)-1	地域とつながる教育の推進	自分の住んでいる地域が好きだという中学生の割合	目標値	65.3%	66.0%	67.0%	68.0%	69.0%	70.0%
			実績値						
			達成度						

・政策分野の基本目標に対し、各施策がどの程度成果を上げているかの評価と、課題・改善案を点検

基本目標のKPIに対する実績と、評価及び今後の方向性(課題・改善案)を記載

具体的な取り組みの実績値を記載し、達成度等で進捗状況を確認

○第2期の進捗管理及び評価案【様式②】

・様式②【具体的取り組み効果検証シート】

令和2年度志摩市創生総合戦略【具体的取り組み効果検証シート】

■ 具体的取り組み 「地域とつながる教育の推進」

■ 施策内容

市内小・中学校の児童・生徒が、地域のことについて知る機会を持つとともに、地域で働く人と触れ合うことで、地域で働いて暮らすことについて考える機会を作る。また市内高校の生徒が授業や部活動を通じて、地域への関心を他県への取り組みや地域で活躍する機会の創出を支援する。

■ 具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値(H30)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性(課題・改善案等)	
					目標値	実績値	達成度	目標値	実績値		達成度
1)-1	地域とつながる教育の推進	自分の住んでいる地域が好きだという中学生の割合	目標値	65.3%	66.0%	67.0%	68.0%	69.0%	70.0%	A 「未来づくり教室」を通じ、地域の魅力について中学生に伝えることにより、目標値を達成したが、実施できなかった学校があったため、全中学校で実施する。また、対象を小学校へ広げ、実施していく。	
			実績値		67.0%						
			達成度		順調						
1)-1	地域とつながる教育の推進	将来は地域に暮らしたいという高校生の割合	目標値	77.5%	78.0%	78.5%	79.0%	79.5%	80.0%	B 目標値を達成しなかったものの、〇〇事業を通じ、地域への愛着を感じる生徒の割合が向上した。目標値を達成するため、地域とのつながりをより高める必要があるため、地域団体等と連携した事業の実施を目指す。	
			実績値		77.5%						
			達成度		概ね順調						

■ 主な成果

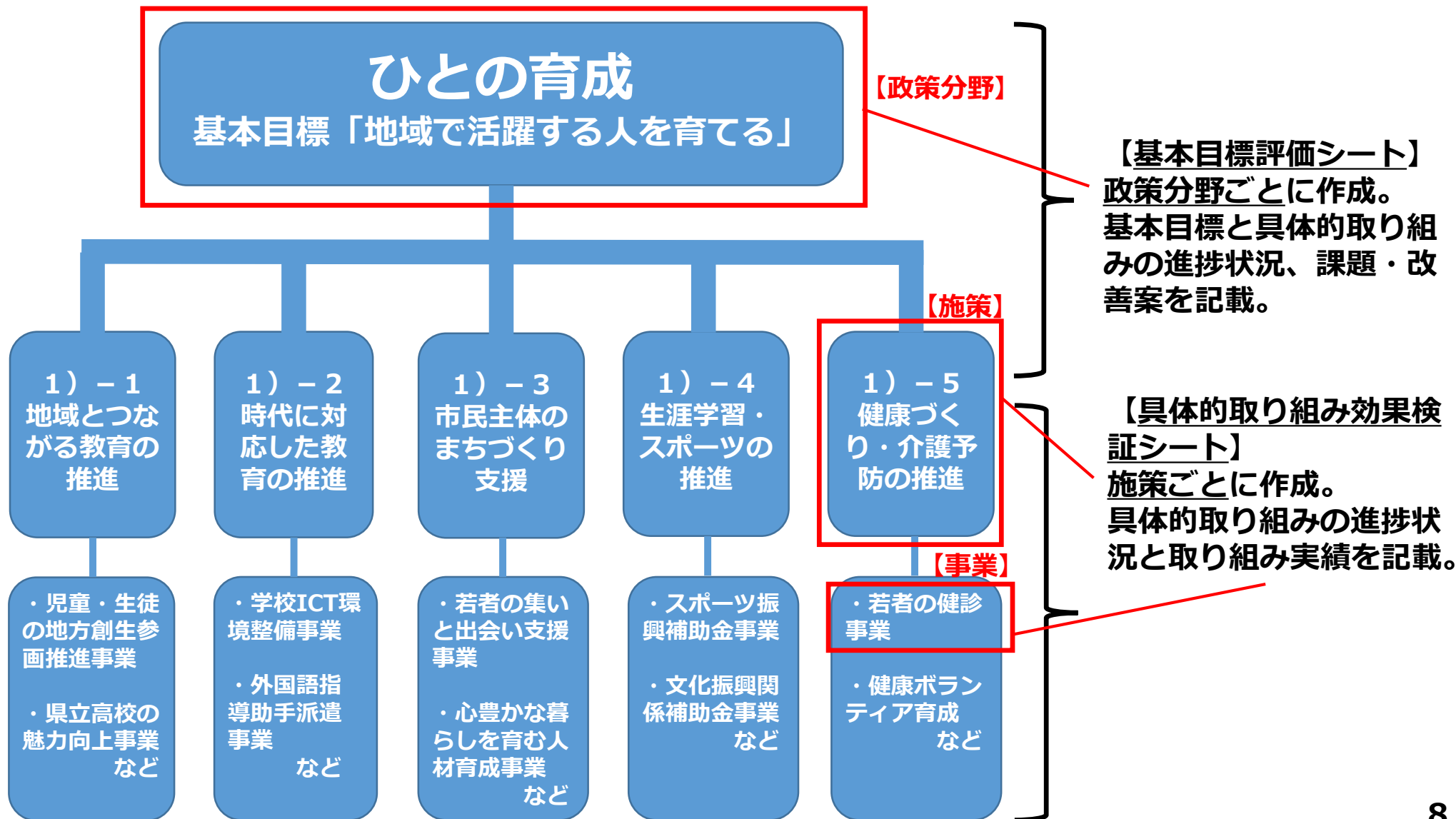
事業名	担当課	実績(令和2年度)	今後の方向性(課題・改善案等)(令和3年度以降)
児童・生徒の地方創生参画事業	総合政策課	・市内の全中学校で「未来づくり教室」を実施。 【令和2年度実績】 中学校5校	・市内全中学校で実施できなかったため、全中学校を対象に実施する。また、対象を小学校へ広げ、実施していく。 ・継続実施する、学校によって内容を変える等、実施方法について検討を行う。
県立高校の魅力向上事業	総合政策課		
志摩市の食料を活かした食育推進事業	総合政策課		
中学生職場体験事業	学校教育課		

・ 具体的な取り組みの進捗状況と取り組みの主な効果及び課題、改善案を検証。

具体的な取り組みの評価と今後の方向性(課題・改善案)を記載

主な成果として、個々の事業の実績と、今後の方向性(課題・改善案)を記載

○第2期の進捗管理及び評価案【評価体系】



○第2期の進捗管理及び評価案【評価体系】

ひとの育成 基本目標「地域で活躍する人を育てる」

1) - 1 地域とつな がる教育の 推進

- ・ 児童・生徒の地方創生参画推進事業
- ・ 県立高校の魅力向上事業 など

1) - 2 時代に対 応した教 育の推進

- ・ 学校ICT環境整備事業
- ・ 外国語指導助手派遣事業 など

1) - 3 市民主体の まちづくり 支援

- ・ 若者の集いと出会い支援事業
- ・ 心豊かな暮らしを育む人材育成事業 など

1) - 4 生涯学習・ スポーツの 推進

- ・ スポーツ振興補助金事業
- ・ 文化振興関係補助金事業 など

1) - 5 健康づく り・介護予 防の推進

- ・ 若者の健診事業
- ・ 健康ボランティア育成 など

○地方創生審議会
【評価の検証】
内部評価を踏まえた検証と、PDCAサイクルの点検（改善案に対する審議等）を行う

○地方創生推進本部
会議
【内部評価】
基本目標の達成状況、各施策の進捗状況を、数値目標を基準に、評価を行う

○各部局
【実績報告】
各事業の実績および数値目標の達成状況を報告

○第2期の進捗管理及び評価案【評価手順】

・評価の手順

手順1
事業実施中～年度末

- 各部局
- ・現状分析
- ・課題抽出
- ・目標設定（数値化）

手順2
年度末～次年度当初

- 各部局
- ・事業の振り返り
- ・実績シート、効果検証シート等の作成

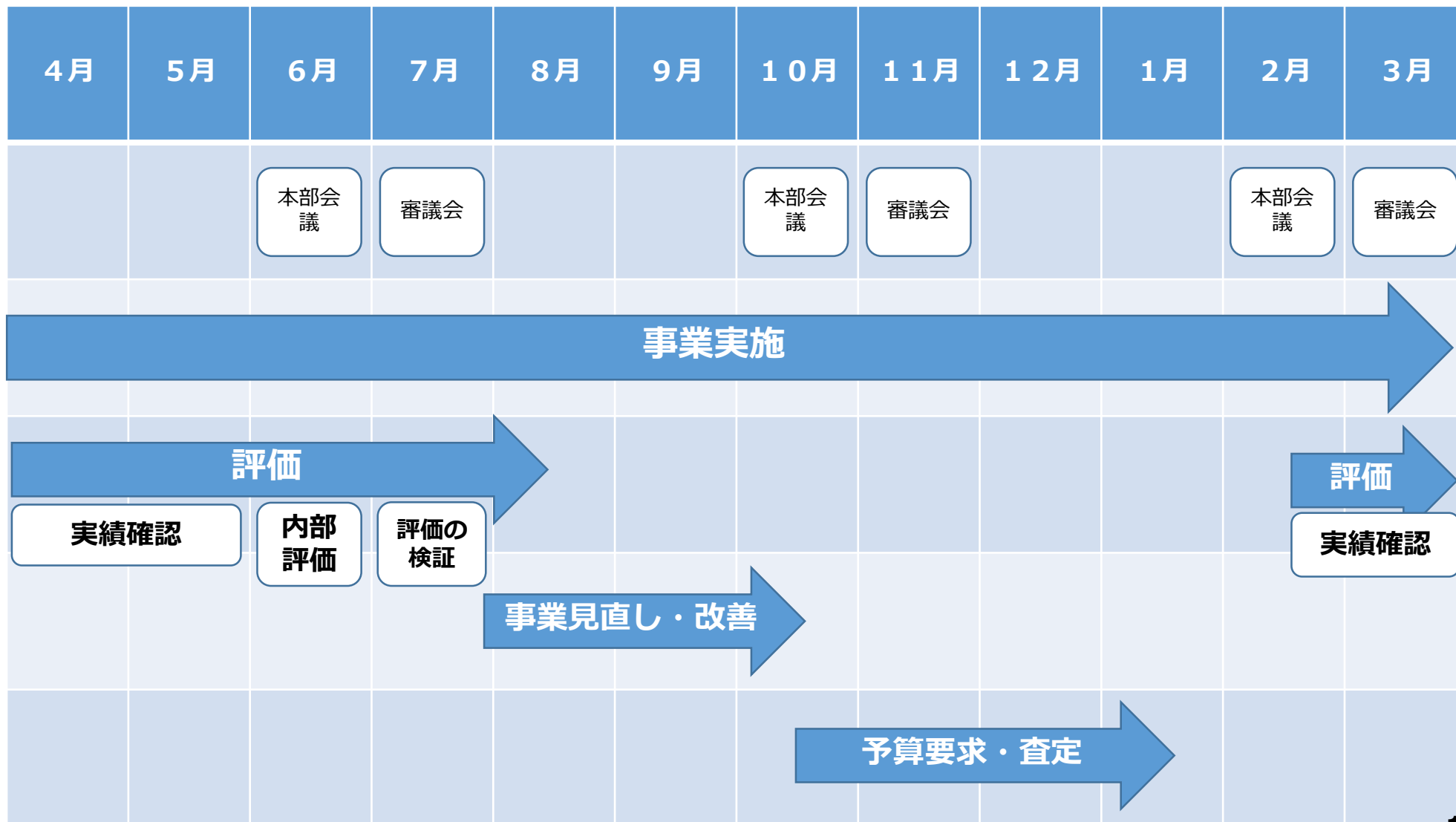
手順3
6月頃

- 地方創生推進本部会議
- ・内部評価

手順4
7月頃

- 地方創生審議会
- ・評価の検証
- ・PDCAサイクルの点検

○スケジュール



OPDCAサイクル



Plan

- ・ 現状分析
- ・ 課題抽出
- ・ 目標設定
(数値化)

第2期志摩市創生総合戦略の見直し、改訂

Do

- ・ 事業実施

計画（総合戦略）、予算に基づき事業を実施

Check

- ・ 評価

評価シート等に基づき、各事業の評価を実施

Action

- ・ 改善

評価結果、本部会議、審議会の意見等を基に、事業の見直し、改善を実施